

第1回 第三次稲城市教育振興基本計画策定委員会 議事要旨

開催日時 平成30年11月27日(火) 午後7時～7時55分
開催場所 地域振興プラザ4階 大会議室
出席者 (委員長) 小野委員
(副委員長) 井上委員
(委員) 藤城委員、牧岡委員、吉田委員、渡邊委員、大和田委員、
狩野委員、石森委員、芦沢委員、石井委員、石田委員、
渡辺委員
(事務局) 加藤教育長、町田教育総務課長、斎藤教育総務係長
コンサルタント2名

会議の概要

1. 教育長挨拶

教育長より挨拶があった。

2. 委員委嘱及び紹介

各委員に委員委嘱状の机上配付及び各委員の自己紹介と事務局の紹介を行った。

3. 委員長、副委員長選出

第三次稲城市教育振興基本計画策定委員会設置要綱第5条に基づき、委員長に小野委員、副委員長に井上委員がそれぞれ選出された。

4. 第三次稲城市教育振興基本計画策定にあたって

事務局より、資料2に基づき説明があった。

5. スケジュールについて

事務局より、資料3に基づき説明があった。

[質疑応答]

委員 評価作業に関しては、評価作業は全部事務局で行い、この会議ではその検証は関係なく、評価だけをするという意味合いでいいのか。

事務局 評価については、アンケート調査や、進捗状況調書を市の担当部署ごとに作成し、それらをまとめたものについて、この会議で評価・検証というかたちでご意見をいただく予定である。

委員 実際の評価点数をつけるのがこの会議ということによろしいか。それとも、評価点数は各事業担当に投げかけて、事業担当がつけた点数をこの場で評価するのか。客観的になるか主観的になるかで違う。この会議は、その部分をどう見るのか。

事務局 のちほど説明する資料5の進捗状況調書を担当課のほうで評価したものを、

事務局で回収する。これが118事業で118枚になり、事業ごとに評価を行い、それを集めて集計したものを皆様に見ていただくというかたちにしたいと考えている。その中で、評価の仕方についてのご意見があれば伺いたいと思っている。

委員 教育大綱を踏まえてこの計画を策定するとなっているが、このスケジュールで31年度の4月に「総合教育会議（教育大綱）」とあるのは、教育大綱を見直すのかどうかという点検をこの場で行い、その後、教育大綱が固まったところで初めてこの計画の中身に入っていくという理解でよろしいか。

事務局 教育大綱自体は、市長が策定するものであるため、大綱の中身をこの場で議論することはない。31年4月に、新たに教育大綱を改正するのかなどの判断がされると思うので、それに基づいて計画の中身を作っていく。事務局としては、それが決まる前から準備作業を進めていくが、皆様にお示しするのは、教育大綱の方向が固まってからの5月中旬・下旬頃になる。

委員 内輪の話になるのが、総合教育会議は企画部で主催しているのだから、よく連携を図りながら行わなければいけないと思うので、確認させていただいた。

6. アンケート調査の実施について

事務局より、資料4に基づき説明があった。

〔質疑応答〕

委員 小学生と保護者のアンケートを比べると、保護者のほうには「お子さんは毎日朝食を食べていますか」という設問があるが、小学生のほうにはないので、小学生のほうにも入れてはどうか。中学生くらいになると自分で何か食べることはあるにしても、小学生の場合には、朝食を食べているのか食べていないのかは大事なことだし、小学生には朝はきちんと食べさせるというのが稲城市の基本としてあったと思う。

事務局 入れたほうが稲城市の現状としてわかるということもあるので、入れる方向で検討したい。

委員 小学生と中学生のアンケートの大項目4の中にある、「テレビやゲーム機を使いますか」と「インターネット、携帯電話、スマートフォンを使いますか」の2つの質問は、どういう意味合いで分けているのか。どちらかといえば、「テレビ」と「ゲーム機、インターネット、携帯電話、スマートフォン」に分けたほうがいい。私は親だが、携帯電話やスマートフォンなどゲーム機以外でゲームをしている時間帯もある。私の娘もスマートフォンでネット動画をずっと見ており、テレビを実際に流れている時間帯に見ることはほとんどない。もしかしたら、今の子どもたちにテレビをリアルタイムで見ているかという質問をすると、大変低い数字が出るかもしれない。テレビとゲーム機が一緒になっていると、「ゲーム機を使っているから2時間」という答えが返ってくるかもしれないし、テレビだけだと、中学生あたりにはゼロ時間という子どももいるかもしれない。

事務局 この点については庁内会議でも議論があった。初めはテレビについての設問は

なかったが、テレビについても尋ねたほうがよいという意見を踏まえて加えた。事務局のイメージとしては、テレビとゲーム機を一緒のくくりとしたが、ただいまのご意見を伺い、またいろいろ検討したい。

委員 アンケートは直接市民に送るものなので、市民の意識を高めるためにもきちんとしたもののほうがよいと思う。この中の家庭教育や地域の教育のところで、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか」という設問はあるが、「家庭の中であいさつをしていますか」という設問がないのが気になっている。家の中で、朝起きたら「おはよう」、「いただきます」、「行ってきます」、「ありがとう」とか、そうした項目が家庭の中であるのかどうかという示唆がどこにもない。「家の中は」というのをどこかに入れていただいたら、アンケートを送られた家庭でも、自分の家のことを意識するようになると思うので、その辺を考えていただきたい。

事務局 いただいたご意見を踏まえて、入れていく方向で考えたい。
その他にお気づきの点があれば、11月30日までにご連絡いただきたい。

7. 第二次稲城市教育振興基本計画の進捗状況調書について

事務局より、資料5に基づき説明があった。

〔質疑応答〕

委員 この評価をしてお示しいただくのは、資料3のスケジュールを見ると、第3回あたりになる見通しか。

事務局 まとめるのにかなり時間がかかるため、現状分析が全て終わり、皆様にお示しできるのが、第3回の3月中旬あたりになる予定である。

8. その他

(1) 会議録等の公開について

〔質疑応答〕

委員 この会議の会議録等をどこまで公開するのか。また、その会議録は我々のほうにバックがあるのか。

事務局 今、広く会議内容について公表するという流れになっているため、公表することを考えている。また、委員の皆様にも会議の流れを振り返っていただくためにも、会議録を作成次第、配付することを考えている。

以上